

企業等の皆さんへ

2026 年度

大阪工業大学インターンシッププログラムのご案内

Internship Program



インターンシッププログラムに関するお問い合わせ

〒535-8585 大阪市旭区大宮 5-16-1 大阪工業大学 キャリア支援部

(インターンシップ担当 細川・林)

TEL／06-6954-4093 FAX／06-6952-4472 E-mail／OIT.Shushoku@josho.ac.jp



インターンシッププログラム 概要

対象	学部3年次、大学院博士前期課程・専門職学位課程1年次
位置付け	正課授業：工学部、ロボティクス＆デザイン工学部、知的財産学部 大学院工学研究科、大学院ロボティクス＆デザイン工学研究科、 大学院情報科学研究科 〔参考〕課外教育：情報科学部、大学院知的財産研究科
実施時期	原則として、夏期休業期間中の5日間以上 ※2026年度の学生夏期休業期間 [8/17(月)～9/23(水)] の中で実習期間の設定をお願いいたします。 ※学生の成績発表日の9/4(金)は実習を避けていただくようお願いいたします。
研修内容	業務全般の就業体験 現場実習・業界研究・プレゼンテーション・ビジネスマナー等 *対面・WEBの実施方法については問いません。「大阪工業大学インターンシッププログラム 学生受入計画」の登録をお願いします(下記のURLからご登録ください)。

大阪工業大学インターンシッププログラム学生受入計画 [https://forms.office.com/r/ui4gnbGi9Z_\(4/3締切\)](https://forms.office.com/r/ui4gnbGi9Z_(4/3締切))

実施の際によくいただく質問項目

Q1. 参加学生はどのように選抜されるのですか？

A1. 学生は大学内で募集、選考いたします。選考は各学科で参加目的などを中心に個人面談を行い、学科として望ましい学生を選抜しています。

Q2. インターンシップ学生受入れにあたり、受入れ側の企業等はどのような対応が必要ですか？

A2. 2023年度から三省（文部科学省、厚生労働省、経済産業省）の合意のもと、産学協議会がインターンシップを再定義しました。本学の正課インターンシップは、この再定義により、別表4類型のタイプ3「汎用的能力・専門活用型インターンシップ」に該当します。

①タイプ3の要件を満たしているかご確認ください。

②満たしていましたら、Formsの「学生受入計画」を登録してください。

③学生から参加希望があり、受入れをご承知いただいた段階で、受入れ条件確定のために「協定書」を交わします。

④研修中、「研修日誌」に毎日学生が業務内容や学んだこと等を記録しますので、ご確認をお願いします。

⑤最終日には、「*受入先ご担当者記入欄」にアドバイスなどをご記入いただきます。

⑥その後は、学生の研修時のご意見などをご記入いただいた「大阪工業大学『インターンシップ評価票』」を大学へご返送していただきます。

ただし、本件についても社会状況を見つつ、内容が変わる可能性があります。

Q3. 保険の加入について

A3. 学生教育研究災害障害保険および学生教育研究賠償責任保険に加入しています。

Q4. 報酬、交通費等について

A4. 報酬は無償とさせていただきます。

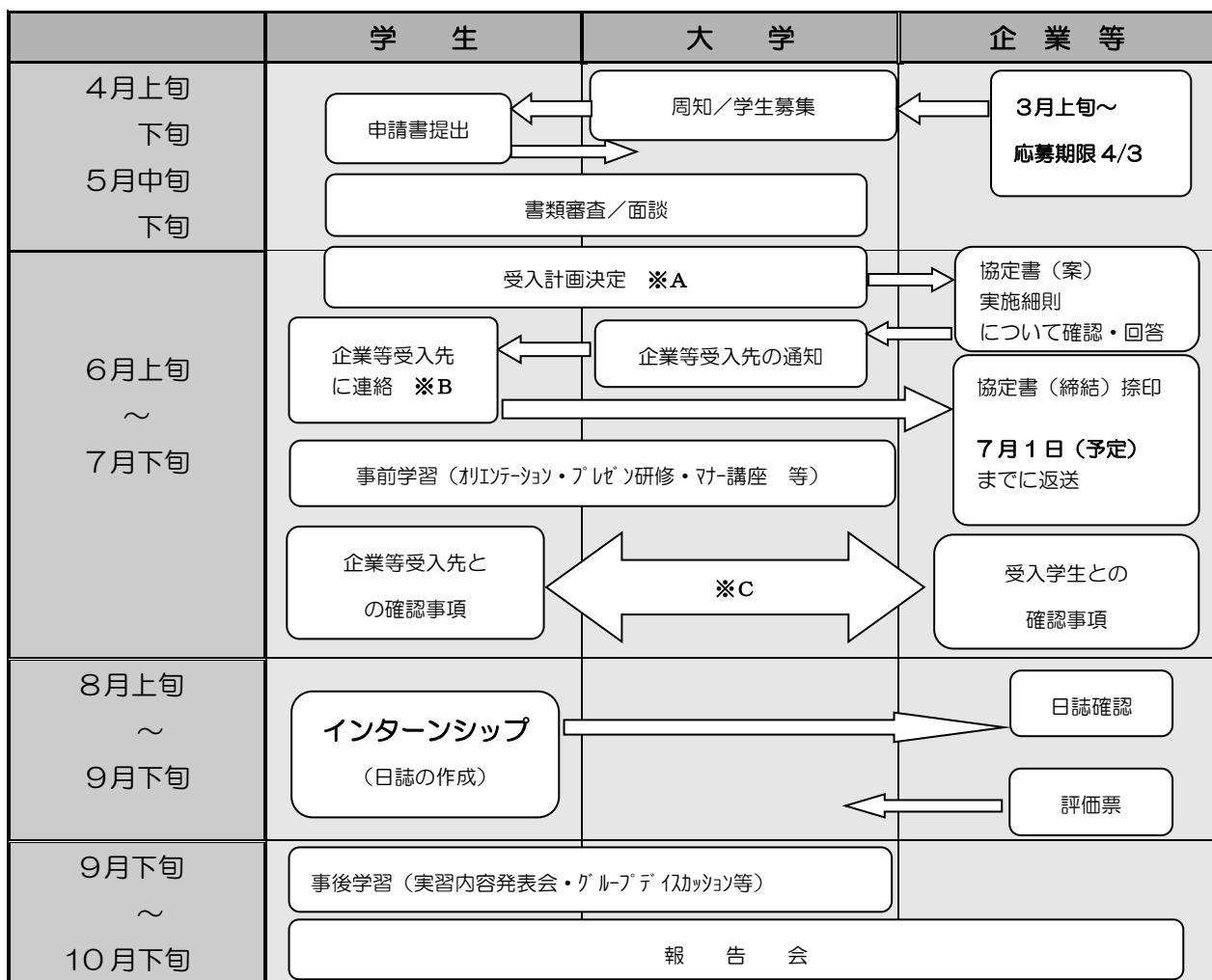
交通費・宿泊費等および食事代等は、原則、学生の自己負担としていますが、企業等受入先様のご判断にお任せしています。

学生のキャリア形成支援活動(4類型)－特徴の比較－

		類型			
		タイプ1: オープンカンパニー	タイプ2: キャリア教育	タイプ3: 汎用的能力・専門活用型インターンシップ	タイプ4(試行): 高度専門型インターンシップ
主な特徴	①目的	個社や業界に関する情報提供・PR	働くことへの理解を深めるための教育	就業体験を通じて、学生にとっては自らの能力の見極め、企業にとっては学生の評価材料の取得	就業体験を通じて、学生にとっては実践力の向上、企業にとっては学生の評価材料の取得
	②代表的ケース (主に想定されるもの)	企業・就職情報会社や大学キャリアセンターが主催するイベント・説明会	・大学等が主導する授業・産学協働プログラム(正課・正課外を問わない) ・企業がCSRとして実施するプログラム	企業単独、大学等が企業あるいは地域コンソーシアムと連携して実施する、適性・汎用的能力ないしは専門性を重視したプログラム	・ジョブ型研究インターンシップ(自然科学分野の博士課程学生を対象に文科省・経団連が共同で試行中) ・高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ(仮称)(産学協議会で検討中)
	③就業体験	なし	任意	必須 ★(a)就業体験要件 学生の参加期間の半分を超える日数を職場での就業体験に充てる (テレワークが常態化している場合は、テレワークも「職場」) ★(b)指導要件 就業体験では、職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後、学生に対しフィードバックを行う	必須
	④参加期間(所要日数)	超短期(単日)	授業・プログラムによって異なる	★(c)実施期間要件 (i)汎用的能力活用型は短期(5日間以上) (ii)専門活用型は長期(2週間以上) 【本学の正課インターンシップは汎用的能力活用型につき、就業体験は3日間以上】	・ジョブ型研究インターンシップ:長期(2カ月以上) ・高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ(仮称):検討中
	⑤実施時期	時間帯やオンラインの活用等、学業両立 但し、企業主催の場合は、時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮	学士・修士・博士課程の全期間(年次不問)。	★(d)実施時期要件 学業との両立の観点から、「学部3年・4年ないしは修士1年・2年の長期休暇期間(夏休み・冬休み・入試休み・春休み)但し、大学正課および博士課程は、上記に限定されない 【本学の正課インターンシップは学部3年／修士1年が対象】	-
	⑥取得した学生情報の採用活動への活用	不可	不可	採用活動開始以降に限り、可	採用活動開始以降に限り、可

- (e)情報開示要件:
- ①プログラムの趣旨(目的)
 - ②実施時期・期間、場所、募集人数、選抜方法、無給／有給等
 - ③就業体験の内容(受入れ職場に関する情報を含む)
 - ④就業体験を行う際に必要な(求められる)能力
 - ⑤インターンシップにおけるフィードバック
 - ⑥採用活動開始以降に限り、インターンシップを通じて取得した学生情報を活用する旨(活用内容の記載は任意)
 - ⑦当該年度のインターンシップ実施計画(時期・回数・規模等)
 - ⑧インターンシップ実施に係る実績概要(過去2~3年度)
 - ⑨採用選考活動等の実績概要※企業による公表のみ

本学インターンシッププログラムの流れ（予定）



※A：企業等受入先様にのみ、受入計画決定のご案内を致します。

（6月下旬）

※B：学生が実施細則を入手後、速やかに学生から企業等受入先様にご挨拶の電話をするよう指導しています。

（7月上～中旬）

※C：B以降、ビジネス教育/コミュニケーションの力を学生につけるためにも、企業等受入先様と学生間で、
隨時で調整させていただきます。

2025年度の実施状況

（企業等団体名＜受付順＞）

（株）スズキ自販近畿、オリオン薬販（株）、マツモト機械（株）、ニッタ（株）、三菱電機コントロールパネル（株）、尼崎電機（株）、中央電設（株）、（株）ソフトム、（株）三水コンサルタント、（株）フルノソフトテック、ハチ代エンジニアリング（株）、高田機工（株）、日本橋梁（株）、東亜建設工業（株）、（株）笠谷工務店、（株）サトー（サトーホールディングス（株））、（株）近計システム、あおみ建設（株）、本四高速道路ブリッジエンジニアリング（株）、（株）中田製作所、（株）島精機製鉄所、セントラルコンサルタント（株）、（株）アトリエスイッチ一級建築士事務所、日本ミクニヤ（株）、オリジナル設計（株）、グリコマニュファクチャリングジャパン（株）、日本建設（株）、鳳工業（株）、因幡電機産業（株）、宮川化成工業（株）、（株）鴻池組、（株）エムアンドエー、キンキ道路（株）、（株）東光コンサルタント大阪支店、協和ファインテック（株）、（株）大林組、（株）ジーテクト、（株）中央電機計器製作所、パルトソフトウェア（株）、日本都市技術（株）、（株）クラックシステム、鹿島建設（株）、寺崎電気産業（株）、日本ソフトウエア（株）、三菱電機メカトロニクスエンジニアリング（株）、福田道路（株）、日本交通技術（株）、日東コンピューターサービス（株）、山崎製パン（株）、三井住友建設（株）、NRIシステムテクノ（株）、（株）エストー、ジェイアール西日本コンサルタント（株）、（株）タカゾノ